

「3年先が見えない」、「財政が安定しない」とお悩みのNGOのための研修

NGO等提案型研修「～中部地域のNGOの中核を担う人材を育てるために～ 中部地域における国際協力および国際交流を担うNGOの持続可能な活動に必要となる知識とスキルを身に着ける研修事業」

A 「団体」を磨く編 2017年9月～10月

1 座学

～NGOとしての「原点」を振り返る～
私たちは「誰の側」に立って活動しているか?
●日時:2017年9月2日(土)10:00～17:00
●会場:名古屋YWCAビル4F 404号室

活動を続けていると見えにくくなる、NGOの原点。
NGOしかできないことは?本当の現場のニーズは?そして、私たちは誰の側に立って活動しているのでしょうか。
長年、そのような問いと向き合いながらNGO活動を続けてきた講師と共に、原点を振り返り、NGOとしての軸を確認しましょう。

●講師



池住義憲さん

元アジア保健研修所・AHI事務局長、日本イクア医療支援ネットワーク(JIM-NET)理事

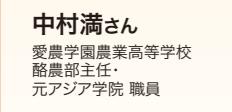
2 現場体験(三重県伊賀市)

～「現実」の中で揺れ動く「理念」～
大センパイNGOの現場で学ぼう

●日時:2017年10月8日(日)10:45～17:45
●会場:全国愛農会(三重県伊賀市) [現地集合・現地解散]

1945年に「世界の平和と農業を守る」ことをめざし、創設されたNGO「愛農会」。70年以上におよぶ歴史の中で、理念と現実のはざまで葛藤し、苦悩しながら深めてきた活動を、現場でじっくりと学びます。

●講師



中村満さん

愛農学園農業高等学校
酪農部主任
元アジア学院 職員

伊藤幸慶さん

ニカラグアの会 事務局長

3 座学・ワークショップ

～どんな社会を創りたい?～
迷わないよう、「ビジョン」を深めよう

●日時:2017年10月28日(土)10:00～17:00
●会場:ウィルあいち2F セミナールーム5

私たちは、どんな社会を創りたいと願い、活動を続けているのでしょうか。また、現在の社会や現場の課題、ニーズは、どう変化しているのでしょうか。それらを踏まえ、理想とする社会像を、具体的にイメージができるようワークショップを行います。その上で、団体の「ビジョン」を改めて捉え直し、3年先も迷わないように深め、自分の言葉で語れるようにしましょう。

●講師



中田豊一さん

ムラのミライ代表理事、シャプラニール＝市民による海外協力の会監事

伊沢令子さん

NIED・国際理解教育センター 代表理事

B 「プロジェクト」を磨く編 2017年11月～12月

4 座学・ワークショップ

～プロジェクト作りのキホンを学ぶ～
(1)現場の「ニーズ」を満たすには?
(2)団体の「強み・リソース」を活かすには?

●日時:2017年11月18日(土)10:00～17:00
●会場:JICA中部 セミナールームB1-2

団体分析を行い、各団体の強みやリソースを確認します。その上で、実行中のプロジェクトあるいは新規のプロジェクトを見直し、具体的にプロジェクトの問題点、課題や改善点について、アドバイスを受けます。

●講師



村田元夫さん

株式会社 ピーエスサポート 代表取締役、中小企業診断士、起業支援ネットワークメンバーリソース開拓センター、経営コンサルタント



浅野陽子さん

日本国際飢餓対策機構 国際連携外部ディレクター

5 現場体験(愛知県日進市)

～一方通行ではない「参加型」を体験しよう～
「住民参加型」プロジェクトの作り方

●日時:2017年12月16日(土)10:00～17:00
●会場:アジア保健研修所・AHI(愛知県日進市)
[現地集合・現地解散]

支援側の一方的な思い込みではなく、「住民参加型」を軸にしながら活動を行ってきたNGOより、住民参加型のプロジェクト作りについて体験を通じて学びます。また、その学びを、団体のプロジェクト作りにどう活用するかについても考えます。

●講師



林かぐみさん

アジア保健研修所・AHI 理事・事務局長



松浦史典さん

ホープ・インターナショナル開発機構 ファンドレイザー

*全国愛農会～三重県伊賀市において、土と命を守る担い手の育成や有機農産物の流通を促進し、さらに国内の農村開発のみならず、アジアの農民との連携を進めつつ、持続可能な農業とアジア農村の発展を目指す「アジア農民の会(AFA)」のメンバーとして活動している。

6 座学・個別相談

C 「ファンドレイジング手法」 を選ぶ編 2018年1月～3月

6 座学・個別相談

～当事者・経験者に聞く、「自己資金」の確保～
(1)「寄付・会費」を増やすには?
(2)「企業との連携」を実現するには?

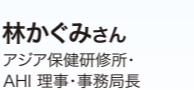
●日時:2018年1月20日(土)10:00～17:00

●会場:JICA中部 セミナールームB1-2

(1)寄付・会費を主な収入源としているNGOより、その秘訣や苦労について話を聞きます。
(2)数多くのNGOとの連携経験を持つ講師より、企業側のNGOに対する本音とニーズを聞いた上で、相手のニーズを踏まえた提案について考えます。

講座終了後、希望団体は、講師より個別相談を受けることができます。

●講師



林かぐみさん

アジア保健研修所・AHI 理事・事務局長



戸成司朗さん

住友理工株式会社 CSR・社会貢献室長、中部プロボノセンター共同代表理事、株式会社 西友 元副社長

7 座学・ワークショップ

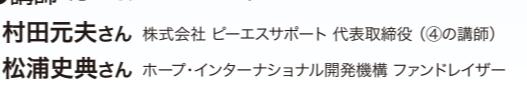
～「赤字」にしない!「自己資金」の確保～
「事業収入」を向上させるためには?

●日時:2018年2月24日(土)10:00～17:00

●会場:JICA中部 セミナールームB1-2

安定した組織運営をするためには、外部資金に依存するだけではなく、自己財源の確保も重要となります。寄付や会費以外に考えられる、事業収入を向上させるための手法を学びます。

●講師・進行



浅野陽子さん

日本国際飢餓対策機構 国際連携外部ディレクター

8 座学・個別相談

～うまく「外部資金」を活用しよう～
「助成金・スキーム」の審査員から聞く
ボンネと申請書作成のコツ

●日時:2018年3月17日(土)10:00～17:00

●会場:JICA中部 セミナールームB1-2

助成金や補助金、委託事業やJICA・外務省などのODAスキーム。長年、これらの外部資金を、審査側から見てきた講師より、審査基準、審査側のボンネ、申請書作成のコツやポイントについて学びます。また、参加団体より、事前に助成金・スキームの申請書案を募り、公開添削を受けます。その後、希望団体には、個別相談にて、アドバイスの時間を設けます。

●講師



山崎唯司さん

元国際協力NGOセンター事務局長、元JICA地球ひろば・市民参加協力アドバイザー



中尾さゆりさん

あいちモリコロ基金相談コーナーチーフ、税理士、准認定ファンドレイザー

*外務省NGO相談員、JICA担当者に、個別相談のアドバイザーを依頼予定

D 「実践する」編(プロのフォローアップ付き) 2018年4月～2019年2月 ※⑩～⑬は選択コースです。

9 共有・アドバイス

～どれにする?「寄付・会費」「企業連携」「事業収入」「助成金・スキーム」?～
これから取り組むアクションプラン案を共有し、ブラッシュアップしよう

●期間:2018年4月頃の平日夜を予定 ●会場:JICA中部 セミナールーム(予定)

団体の中で、Cのファンドレイジング方法のいずれかを選び、2018年度6月～11月にプロのアドバイスを受けて、実行できるアクションプランを立てます。
次回⑩のアクションプランの発表に向けて、アクションプラン案を発表し、講師や参加者からアドバイスを受けます。

●ファシリテーター 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際連携外部ディレクター

10 共有・プロとのマッチング

～いよいよ実践スタート!～アクションプランに合わせて、プロとマッチング

●日時:2018年5月頃(土)または(日)の10～17時を予定

●会場:JICA中部 セミナールーム(予定)

それぞれの団体が取り組むアクションプランを発表・共有し、専門アドバイザーよりアドバイスを受けます。
その後、それぞれのアクションプランに合った専門アドバイザーよりマッチングをし、個別相談の時間を設け、今後のスケジュール調整を行います。

●専門アドバイザー 寄付・会費／企業連携 林かぐみさん(⑤⑥の講師)／戸成司朗さん(⑥の講師)

事業収入の向上 村田元夫さん(④⑦の講師)

助成金・スキーム活用 中尾さゆりさん(⑧の講師) *外務省NGO相談員(依頼予定)

●講師・進行 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際連携外部ディレクター

11～13 4コースのうち 1つを選ぶ

実践・プロによるフォローアップ

プロからアドバイスを 受け、実践しよう!

●期間:2018年6月～11月
(参加団体の都合に合わせて実施)

⑪～⑬の4コースのうち、いずれかを選び、対面や電話・メール等を通じて、プロから個別にアドバイスを受けることができます。

*相談の目安:隔月1回1～2時間程度の面談および電話・メールで随時相談など

選択 コース 11-1

選択 コース 11-2

【寄付・会費】のフォローアップ

●専門アドバイザー 林かぐみさん(⑤⑥の講師)／戸成司朗さん(⑥の講師)

●サポート(支援員) 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際連携外部ディレクター

選択 コース 12 【事業収入の向上】のフォローアップ

●専門アドバイザー 村田元夫さん(④⑦の講師)

●サポート(支援員) 西口のぞみさん ニカラグアの会 スタッフ

選択 コース 13 【助成金・スキーム】のフォローアップ

●専門アドバイザー 中尾さゆりさん(⑧の講師)

●サポート(支援員) 伊藤幸慶さん ニカラグアの会 事務局長

*ODAスキーム申請を希望する団体がいる場合は、外務省NGO相談員またはJICA担当者に協力を依頼予定

14 共有・アドバイス

～どこまで、できた?進捗共有～ アクションプランの進捗を共有しよう!

●期間:2018年12月頃平日夜を予定 ●会場:JICA中部 セミナールーム(予定)

次回⑯の成果発表会に向けて、アクションプランの進捗を共有し、講師や参加団体より個別アドバイスを受けます。

●講師 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際連携外部ディレクター